

事業報告書（令和元年度）

事業名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ

団体名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ 担当者名 宮井 宏

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

○第1回 令和元年6月9日（日）

【参加予定対象者・人数】 15家族・48人

【活動内容等】

※食中毒の疑いのため、活動中止。

○第2回 令和元年8月4日（日） 10:00～15:00

【場所】 自然の家・まやかみ農園・桃園

【参加対象者・人数】 14家族・44人

【活動内容等】

- ・桃園で桃の収穫。（まやかみ農園の方に、美味しい桃の見分け方などを指導してもらう。桃をお土産とする。）
- ・まやかみ農園でジャガイモの収穫体験。（ジャガイモをお土産とする。）
- ・ファミリースペースでの活動（草取り・野菜の収穫・苗の植付け）
- ・野外炊事（牛丼づくり）で家族間の交流。

○第3回 令和元年10月6日（日） 10:00～15:00

【場所】 自然の家・まやかみ農園・マスカット園

【参加対象者・人数】 14家族・44人

【活動内容等】

- ・マスカット園で、マスカットオブアレキサンドリアの収穫。（収穫したマスカットの一部をお土産とする。）
- ・ファミリースペースでの活動（畑の手入れ・野菜の収穫・冬野菜の苗植え）
- ・野外炊事（カレーづくり）で家族間の交流。
- ・どんぐりゴマやどんぐり笛の作成。（マスカット園の送迎時間の合間で）

○第4回 令和年11月17日（日） 10:00～15:00

【場所】 自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】 15家族・47人

【活動内容等】

- ・まやかみ農園で玉ネギの定植。
- ・まやかみ農園で里芋やチンゲンサイの収穫体験。（里芋・チンゲンサイをお土産とする。）

- ・ファミリースペースでの活動（畑の手入れ・野菜の収穫や苗植え）。
- ・野外炊事（ホットドッグづくり）で家族間の交流。

○第5回 令和元年12月15日（日） 10:00～15:00

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】12家族・38人

【活動内容等】

- ・まやかみ農園で、冬野菜（ジャガイモ・大根・蕪・小松菜・ミズナ・チンゲンサイ）の収穫をする。（収穫した野菜をお土産とする。）
- ・ファミリースペースでの活動。（野菜の収穫・畑の手入れ）
- ・昼食は、デミグラスソースのカツ丼。
- ・午後より、松ぼっくりツリーの作成。

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

- ・ファミリースペース（家族の畑）活動で、土を耕し、畝を作り、作物を植え育て、収穫する一連の活動を通して、農業の楽しさと難しさを知り、「食」について継続して考えてもらう。
- ・まやかみ農園で農業体験・収穫体験をしたり他家族と協力して野外炊事や交流活動をしたりすることで、家族の絆を深めたり地域の人や他家族とコミュニケーションづくりをする。
- ・野外炊事で、かまどで薪を使って煮炊きをし、「火育」の観点を取り入れた活動を設定する。
- ・身近にある自然物を使って、いろいろな物を作る楽しさを味わってもらいたいために、マスカット園の送迎時間の合間や第5回目の農園クラブの午後の空いた時間に、木の実を使ってどんぐりゴマやどんぐり笛、松ぼっくりツリーを作る。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

- ・今年度の参加家族は18家族で、そのうち6家族がリピーターであった。各家族に、約5㎡に区割りしたファミリースペースを提供し、年間を通じて各家族に責任をもって利用してもらった。
- ・農業体験がほとんどない家族もたくさんいたが、まやかみ農園の方から専門的な立場に立った指導をしてもらうとともに、リピーターの家族からも助言をもらって、一生懸命作業に取り組んでいた。
- ・家族で協力して農作業や収穫体験をすることで、自然に会話がはずみ、微笑ましい光景が見られた。農園で収穫した桃や野菜を見て嬉しそうな声をあげたり大切に扱ったりする姿がふんだんに見られた。
- ・定期的な農園クラブの開催日以外にファミリースペースに5回以上足を運んだ家族が8家族であった。2週間に1回のペースで訪れる方もあり、意識の高さを感じられた。
- ・毎回、野外炊事の班の組合わせを替えることで、参加者も多く家族と知り合いにな

り、会話も弾み楽しく野外炊事ができていた。

- ・第5回の活動終了後に、アンケートを実施した。「どの活動も楽しかった。」という意見がほとんどであった。また、「今回の事業を通して、農作物を育てる楽しさや喜びを感じることができた。」「今後も機会があれば、農作物を育てたり土に触れたりするなどの農業体験の事業に参加したい。」と全ての家族が答えていた。
- ・参加者の中には、「大変でしたが、野菜をつくる楽しさや大切さが分かりました。また、来年も参加したいです。主人は、人生観が変わったと言っています。」とアンケートに書かれ、来年度は、新しい土地を借りて農業をやりたいと言われていた。

4. 今後の課題と展望

- ・今年度でファミリー農園クラブは8年目で、ファミリースペース活動を取り入れて7年目であった。毎年応募数が多く、抽選で参加者を決定しているが、リピーターの家族が多いのが特徴である。リピーターの家族が大変よい手本になっており、会員全員が畑の耕し・畝作り・苗の植付けなどに主体的に取り組むことができた。
- ・ファミリースペースで家族と一緒に野菜を育てることで、野菜作りの楽しさ・喜び・難しさなどを感じてほしいと願っている。また、自分で育てた旬の野菜を食べることで野菜の本当の美味しさを味わい、「食」に対する興味や関心を高めてほしい。
- ・畑でのファミリースペース活動（作業）がほとんどなくなる第5回目の活動内容に、家族の交流活動（松ぼっくりツリーづくり）を織り込むなどの工夫を加え、参加者が飽きないよう配慮をしている所であるが、今後も活動内容に幅を持たせ、1年間のよいまとめができるようにしていきたいと考えている。

令和元年度 第1回ファミリー農園クラブ

令和元年6月9日(日)

※食中毒の疑いのため中止

令和元年度 第2回ファミリー農園クラブ

令和元年8月4日(日)



(桃の取り方の説明)



(桃の収穫)



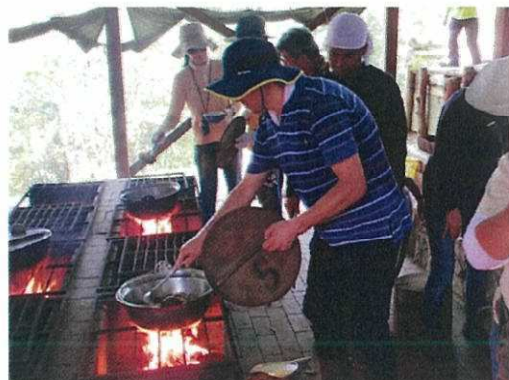
(フルーツキャップで保護)



(ジャガイモの収穫)



(ファミリースペースでの活動)



(野外炊事で牛丼づくり)

令和元年度 第3回ファミリー農園クラブ

令和元年 10月6日 (日)



(ファミリースペースでの活動)



(野菜の植付け)



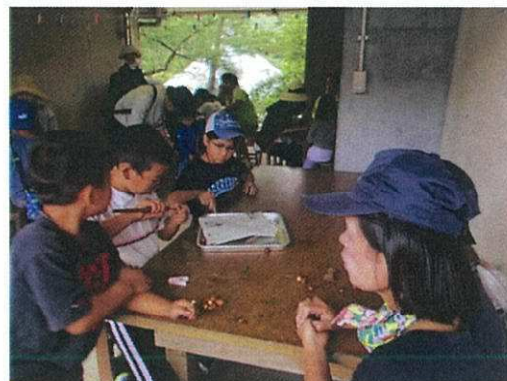
(野外炊事カレーづくり)



(会食)



(マスカットの収穫)



(どんぐりゴマ・どんぐり笛作り)

令和元年度 第4回ファミリー農園クラブ

令和元年 11月 17日 (日)



(玉ネギの定植)



(里芋の収穫)



(チンゲンサイの収穫)



(ファミリースペースでの活動)



(ホットドッグづくり)



(ホットドッグづくり)

令和元年度 第5回ファミリー農園クラブ

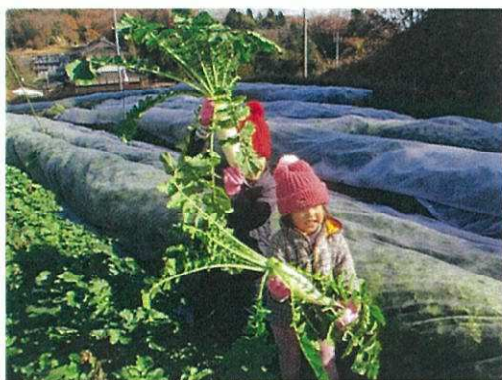
令和元年 12月 15日 (日)



(ジャガイモの収穫)



(冬野菜の収穫)



(冬野菜の収穫)



(ファミリースペースでの活動)



(松ぼっくりツリーづくり)



(松ぼっくりツリーづくり)

岡山 ESD

えーものを

子孫の代まで...

2019年度



岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ



年間スケジュール (予定)

- ◎6月9日(日) 10:00～
- ◎体験活動:桃の袋かけ、たまねぎ収穫
- ◎畑活動:ファミリースペースでの作業
(畝づくり・夏野菜苗植付け・種まき 他)
- ◎家族の交流(自己紹介・ゲーム)

- ◎8月4日(日)10:00～
- ◎体験活動:桃の収穫
- ◎畑活動:ファミリースペースでの作業
(夏野菜の収穫 他)
- ◎野外炊事(メニューはお楽しみに)



- ◎10月6日(日) 10:00～
- ◎体験活動: マスカットの収穫
- ◎畑活動:ファミリースペースでの作業
(秋冬野菜のの定植 他)
- ◎野外炊事(メニューはお楽しみに)



- ◎11月17日(日) 10:00～
- ◎体験活動: 玉ねぎの定植
- ◎畑活動:ファミリースペースでの作業
(秋冬野菜の収穫 他)
- ◎野外炊事(メニューはお楽しみに)

- ◎12月15日(日) 10:00～
- ◎体験活動:ジャガイモの収穫
- ◎畑活動:ファミリースペースでの作業
(冬野菜の収穫 整地 他)
- ◎お楽しみ会

★畑活動の収穫野菜は、天候によって変更の可能性があります。

